

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定格	使用温度範囲	-40℃～+90℃(RH90%以下)			保存温度範囲	-40℃～+90℃(RH90%以下)			
	電力	— W			特性インピーダンス	50Ω(0～3GHz)			
	特殊性	—			適合ケーブル	—			
性能									
	項目	試験方法			規格			QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表示	目視にて確認する。						○	○
電気的性能	接触抵抗	10 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。			中心コネクタ	20 mΩ以下		○	—
					外部コネクタ	10 mΩ以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 250Vで測定する。			500 MΩ以上			○	○
	耐電圧	AC 300Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ～ 3 GHzにて測定する。			VSWR 1.2 以下			○	—
	挿入損失	周波数 ～ GHzにて測定する。			dB 以下			—	—
機械的性能	単体挿抜力	— の鋼製ピンで測定する。			差込力	— N 以下		—	—
	引抜力				— N 以上		—	—	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。			差込力	— N 以下		—	—
					引抜力	— N 以上		—	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 中心コネクタ 25 mΩ以下 外部コネクタ 15 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59m/s ² で 3 軸方向各 1 時間 試験する。			① 1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
耐衝撃性	加速度 735 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 方向各 3 回試験する。						○	—	
環境的性能	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	— N 以下の引張力をケーブル軸に加える。			① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。			—	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 40℃, 湿度 95% 中に (96時間) 放置する。			① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	温度サイクル	温度 -40 → 5～35 → +90 → 5～35℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水, 48 時間放置する。			はなはだしい腐食がないこと。			○	—
備考					製図	担当	検図	承認	出図
									
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。									
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目									
 ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		製品規格表			製品名 H. FL-R-SMT (01)				
IBCL		図番		製品コード		1			
CL		SLC4-046538-01		CL331-0521-6-01		1			